



Red Hat OpenStack Platform 11

オーバークラウドのパラメーター

Red Hat OpenStack Platform オーバークラウドのコアテンプレートコレクションを
カスタマイズするためのパラメーター

Red Hat OpenStack Platform 11 オーバークラウドのパラメーター

Red Hat OpenStack Platform オーバークラウドのコアテンプレートコレクションをカスタマイズするためのパラメーター

OpenStack Team
rhos-docs@redhat.com

法律上の通知

Copyright © 2018 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution-Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux ® is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java ® is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS ® is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL ® is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js ® is an official trademark of Joyent. Red Hat Software Collections is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack ® Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

本書は、Red Hat OpenStack Platform のオーバークラウドをカスタマイズするパラメーターについて記載します。本書は、『オーバークラウドの高度なカスタマイズ』ガイドと併せてご利用ください。

目次

第1章 オーバークラウドのコアパラメーター	3
第2章 ロールベースのパラメーター	5
第3章 CEPH STORAGE パラメーター	6
第4章 CEPH RADOSGW パラメーター	8
第5章 BLOCK STORAGE (CINDER) パラメーター	9
第6章 IMAGE STORAGE (GLANCE) パラメーター	10
第7章 ORCHESTRATION (HEAT) パラメーター	11
第8章 DASHBOARD (HORIZON) パラメーター	13
第9章 BARE METAL (IRONIC) パラメーター	14
第10章 IDENTITY (KEYSTONE) パラメーター	15
第11章 SHARED FILE SERVICE (MANILA) パラメーター	17
第12章 NETWORKING (NEUTRON) パラメーター	18
第13章 COMPUTE (NOVA) パラメーター	21
第14章 CLUSTERING (SAHARA) パラメーター	24
第15章 OBJECT STORAGE (SWIFT) パラメーター	25
第16章 TELEMETRY (CEILOMETER、GNOCCHI、AODH) パラメーター	26
第17章 時間パラメーター	28

第1章 オーバークラウドのコアパラメーター

パラメーター	説明
AddVipsToEtcHosts	ネットワーク別の仮想 IP を各ノードの <code>/etc/hosts</code> に追加するには、 <code>True</code> に設定します。デフォルト値は <code>True</code> です。
CloudDomain	ホストに使用する DNS ドメイン。これは、アンダークラウドで設定されている <code>dhcp_domain</code> と一致する必要があります。デフォルト値は <code>localdomain</code> です。
CloudName	そのクラウドの DNS 名。デフォルト値は、 <code>overcloud.localdomain</code> です。
CloudNameCtlplane	そのクラウドのコントロールプレーンエンドポイントの DNS 名。デフォルト値は <code>overcloud.ctlplane.localdomain</code> です。
CloudNameInternal	そのクラウドの内部 API エンドポイントの DNS 名。デフォルト値は <code>overcloud.internalapi.localdomain</code> です。
CloudNameStorage	<code>ci-overcloud.storage.tripleo.org</code> など、そのクラウドのストレージエンドポイントの DNS 名。デフォルト値は <code>overcloud.storage.localdomain</code> です。
CloudNameStorageManagement	そのクラウドのストレージ管理エンドポイントの DNS 名。デフォルト値は <code>overcloud.storagegmt.localdomain</code> です。
ControlFixedIPs	コントロールプレーンの固定仮想 IP を定義します。この値には <code>[{ip_address: '1.2.3.4'}]</code> の形式を使用します。
DeployIdentifier	これを一意の値に設定すると、 <code>Heat stack-update</code> で設定を行うデプロイメントタスクが再度実行されます。
HypervisorNeutronPhysicalBridge	各ハイパーバイザー上に作成する Open vSwitch ブリッジ。このパラメーターはデフォルトでは、 <code>br-ex</code> に設定されます。この値は、コントロールプレーンノードと同じです。この設定により、Open vSwitch エージェントの設定が統一されます。通常、この値は変更する必要はありません。デフォルト値は <code>br-ex</code> です。

パラメーター	説明
HypervisorNeutronPublicInterface	HypervisorNeutronPhysicalBridge に追加するインターフェース。デフォルト値は nic1 です。
InternalApiVirtualFixedIPs	InternalApiVirtualInterface ポートの IP 割り当てを制御します。値には [{ip_address: '1.2.3.4'}] の形式を使用します。
NeutronControlPlaneID	コントロールプレーンネットワークの ID または名前。デフォルト値は ctlplane です。
NeutronPublicInterface	外部ブリッジに接続するためのインターフェース。デフォルト値は nic1 です。
PublicVirtualFixedIPs	PublicVirtualInterface ポートの IP 割り当てを制御します。値には [{ip_address: '1.2.3.4'}] の形式を使用します。
RabbitCookieSalt	RabbitMQ クッキーのソルト。無作為に生成される RabbitMQ クッキーを強制的に変更するには、この値を変更します。デフォルト値は unset です。
RedisVirtualFixedIPs	Redis で使用する仮想 IP の IP 割り当てを制御します。値には [{ip_address: '1.2.3.4'}] の形式を使用します。
ServerMetadata	オーバークラウドでノードを作成するために Nova に渡される追加のプロパティまたはメタデータ。Nova メタデータ API 経由でアクセスできます。
StorageMgmtVirtualFixedIPs	StorageMgmtVirtualInterface ポートの IP 割り当てを制御します。値には [{ip_address: '1.2.3.4'}] の形式を使用します。
StorageVirtualFixedIPs	StorageVirtualInterface ポートの IP 割り当てを制御します。値には [{ip_address: '1.2.3.4'}] の形式を使用します。
UpdateIdentifier	stack-update の実行中に前回使用されなかった値を設定すると、全ノードでパッケージの更新がトリガーされます。

第2章 ロールベースのパラメーター

ROLE はロール名に置き換えます。たとえば、**_ROLE_Count** には **ControllerCount** を使用します。

パラメーター	説明
_ROLE_Count	1つのロールにデプロイするノード数
_ROLE_HostnameFormat	ノードのホスト名の形式。 %index% はノードのインデックス (例: 0/1/2) に、 %stackname% はスタック名 (例: overcloud) に置き換えます。デフォルト値は %stackname%_-_ROLE_-_%index% です。
_ROLE_ReplacementPolicies	特定のリソースの削除が必要な更新の実行時に、そのロールの ResourceGroup から削除されるリソースの一覧
_ROLE_SchedulerHints	オプションのスケジューラーのヒント (nova)
_ROLE_Services	ROLE のロール上にインストールする必要のある各サービスのネストされたスタックを表すサービスリソースの一覧 (Heat resource_registry で設定される)。

第3章 CEPH STORAGE パラメーター

パラメーター	説明
CephAdminKey	Ceph 管理クライアントのキー。 ceph-authtool --gen-print-key で作成することができます。
CephClientKey	Ceph クライアントのキー。現在は、外部の Ceph デプロイメントでの OpenStack ユーザーキーリング作成のみに使用されています。 ceph-authtool --gen-print-key で作成することができます。
CephClusterFSID	Ceph クラスター FSID。UUID である必要があります。
CephIPv6	IPv6 アドレスにバインドする Ceph デモンを有効化します。デフォルトは false です。
CephMonKey	Ceph 監視クライアントのキー。 ceph-authtool --gen-print-key で作成することができます。
CephPools	事前定義されたプールの1つの設定を上書きするか、追加の設定を作成します。例: <pre>{ "volumes": { "size": 5, "pg_num": 128, "pgp_num": 128 } }</pre>
CephValidationDelay	検証チェックの間隔 (秒単位)。デフォルト値は 30 です。
CephValidationRetries	Ceph の検証の再試行回数。デフォルト値は 40 です。
CinderBackupRbdPoolName	Block Storage (cinder) のバックアップが有効化されている場合に使用するプール。デフォルトは backups です。
CinderRbdPoolName	Block Storage (cinder) サービスに使用するプール。デフォルトは volumes です。
ControllerEnableCephStorage	コントローラーに Ceph Storage (OSD) をデプロイするかどうか。デフォルト値は False です。
GlanceBackend	使用する Glance バックエンドの省略名。 rbd に設定して Ceph Storage を使用します。
GlanceRbdPoolName	Image Storage (glance) サービスに使用するプール。デフォルトは images です。
GnocchiRbdPoolName	Telemetry ストレージに使用するプール。デフォルトは metrics です。

パラメーター	説明
IgnoreCephUpgradeWarnings	有効化すると、クラスターまたは PG ステータスがクリーンな状態でない場合でも、Ceph のアップグレードが強制的に実行されます。デフォルト値は False です。
ManilaCephFSDataPoolName	ファイル共有のストレージに使用するプール。デフォルトは manila_data です。
ManilaCephFSMetadataPoolName	ファイル共有のメタデータストレージに使用するプール。デフォルトは manila_metadata です。
NovaEnableRbdBackend	Compute (nova) の Ceph バックエンドを有効化するかどうか。デフォルト値は False です。
NovaRbdPoolName	Compute ストレージに使用するプール。デフォルトは vms です。

第4章 CEPH RADOSGW パラメーター

パラメーター	説明
CephRgwKey	radosgw クライアントの cephx キー。 ceph-authtool --gen-print-key を使用して作成できます。

第5章 BLOCK STORAGE (CINDER) パラメーター

パラメーター	説明
CinderCronDbPurgeAge	削除済みのインスタンスを別のテーブル (Age) に移動する cron ジョブ。デフォルト値は 0 です。
CinderCronDbPurgeDestination	削除済みのインスタンスを別のテーブル (Log destination) に移動する cron ジョブ。デフォルト値は /var/log/cinder/cinder-rowsflush.log です。
CinderCronDbPurgeHour	削除済みのインスタンスを別のテーブル (Hour) に移動する cron ジョブ。デフォルト値は 0 です。
CinderCronDbPurgeMinute	削除済みのインスタンスを別のテーブル (Minute) に移動する cron ジョブ。デフォルト値は 1 です。
CinderCronDbPurgeMonth	削除済みのインスタンスを別のテーブル (Month) に移動する cron ジョブ。デフォルト値は * です。
CinderCronDbPurgeMonthday	削除済みのインスタンスを別のテーブル (Day) に移動する cron ジョブ。デフォルト値は * です。
CinderCronDbPurgeUser	削除済みのインスタンスを別のテーブル (User) に移動する cron ジョブ。デフォルト値は keystone です。
CinderCronDbPurgeWeekday	削除済みのインスタンスを別のテーブル (Week Day) に移動する cron ジョブ。デフォルト値は * です。
CinderEnableDBPurge	Cinder データベースでソフト削除された行をパージする cron ジョブを作成するかどうか。デフォルト値は True です。
CinderPassword	cinder-api で使用する、Cinder サービスアカウントのパスワード
CinderWorkers	Block Storage サービスのワーカー数を設定します。デフォルト値は、ノードにある CPU コア数と同じ数値です。ワーカー数が多いと、システムのプロセス数も増え、メモリーを過剰消費してしまう点に注意してください。CPU コア数が多いシステムでは、デフォルト以外の適切な値を選択することを推奨します。

第6章 IMAGE STORAGE (GLANCE) パラメーター

パラメーター	説明
GlanceBackend	使用するバックエンドの省略名。 swift 、 rbd 、 file のいずれかにする必要があります。デフォルト値は swift です。
GlanceLogFile	Glanceからのメッセージのログ記録に使用するファイルのファイルパス。
GlanceNfsEnabled	GlanceBackend: file を使用する場合は、イメージストレージ用にNFS共有をマウントします。デフォルト値は False です。
GlanceNfsOptions	GlanceNfsEnabled がtrueの場合のイメージストレージのNFSマウントオプション。デフォルト値は intr,context=system_u:object_r:glance_var_lib_t:s0 です。
GlanceNfsShare	GlanceNfsEnabled がtrueの場合にイメージストレージ用にマウントするNFS共有
GlanceNotifierStrategy	Glance 通知キューに使用するストラテジー。デフォルト値は noop です。
GlancePassword	Image Storage サービスおよびデータベースアカウントのパスワード
GlanceWorkers	Image Storage サービスのワーカー数を設定します。デフォルト値は、ノードにあるCPUコア数と同じ数値です。ワーカー数が多いと、システムのプロセス数も増え、メモリーを過剰消費してしまう点に注意してください。CPUコア数が多いシステムでは、デフォルト以外の適切な値を選択することを推奨します。

第7章 ORCHESTRATION (HEAT) パラメーター

パラメーター	説明
HeatAuthEncryptionKey	heat-engine の認証暗号化キー
HeatConvergenceEngine	コンバージェンスアーキテクチャーの heat エンジン を有効化します。デフォルト値は True です。
HeatCronPurgeDeletedAge	削除済みとマークされており、かつ \$age (Age) より も古いデータベースのエントリーをパージする cron ジョブ。デフォルト値は 30 です。
HeatCronPurgeDeletedAgeType	削除済みとマークされており、かつ \$age (Age type) よりも古いデータベースのエントリーをパージする cron ジョブ。デフォルト値は days です。
HeatCronPurgeDeletedDestination	削除済みとマークされており、かつ \$age (Log destination) よりも古いデータベースのエントリーを パージする cron ジョブ。デフォルト値は /dev/null です。
HeatCronPurgeDeletedEnsure	削除済みとマークされており、かつ \$age (Ensure) よりも古いデータベースのエントリーをパージする cron ジョブ。デフォルト値は present です。
HeatCronPurgeDeletedHour	削除済みとマークされており、かつ \$age (Hour) より も古いデータベースのエントリーをパージする cron ジョブ。デフォルト値は 0 です。
HeatCronPurgeDeletedMaxDelay	削除済みとマークされており、かつ \$age (Max Delay) よりも古いデータベースのエントリーをパー ジする cron ジョブ。デフォルト値は 3600 です。
HeatCronPurgeDeletedMinute	削除済みとマークされており、かつ \$age (Minute) よりも古いデータベースのエントリーをパージする cron ジョブ。デフォルト値は 1 です。
HeatCronPurgeDeletedMonth	削除済みとマークされており、かつ \$age (Month) より も古いデータベースのエントリーをパージする cron ジョブ。デフォルト値は * です。
HeatCronPurgeDeletedMonthday	削除済みとマークされており、かつ \$age (Month Day) よりも古いデータベースのエントリーをパー ジする cron ジョブ。デフォルト値は * です。
HeatCronPurgeDeletedUser	削除済みとマークされており、かつ \$age (User) より も古いデータベースのエントリーをパージする cron ジョブ。デフォルト値は heat です。

パラメーター	説明
HeatCronPurgeDeletedWeekday	削除済みとマークされており、かつ \$age (Week Day) よりも古いデータベースのエントリーをパージする cron ジョブ。デフォルト値は * です。
HeatEnableDBPurge	Heat データベースでソフト削除された行をパージする cron ジョブを作成するかどうか。デフォルト値は True です。
HeatMaxResourcesPerStack	最上位のスタックごとに許容できる最大リソース。-1は無制限です。デフォルト値は 1000 です。
HeatPassword	Orchestration サービスおよびデータベースアカウントのパスワード
HeatStackDomainAdminPassword	OpenStack Identity (keystone) の OpenStack Orchestration (heat) ドメインの管理者パスワード
HeatWorkers	Heat サービスのワーカー数。デフォルト値は 0 です。ワーカー数が多いと、システムのプロセス数も増え、メモリーを過剰消費してしまう点に注意してください。CPU コア数が多いシステムでは、デフォルト以外の適切な値を選択することを推奨します。

第8章 DASHBOARD (HORIZON) パラメーター

パラメーター	説明
HorizonAllowedHosts	Horizon が実行中のサーバーの IP/ホスト名の一覧。ヘッダーチェックに使用します。デフォルト値は * です。
HorizonPasswordValidator	パスワード検証のための正規表現
HorizonPasswordValidatorHelp	パスワード検証のためのヘルプテキスト
HorizonSecret	Web サーバーの秘密鍵
MemcachedIPv6	Memcached の IPv6 機能を有効化します。デフォルト値は False です。

第9章 BARE METAL (IRONIC) パラメーター

パラメーター	説明
IronicCleaningDiskErase	初回のデプロイメントおよび再デプロイメントの前に行うディスク消去の種類。完全消去するには full を指定し、ディスクのメタデータのみを消去するには metadata を指定します (パーティションテーブル)。デフォルト値は full です。
IronicCleaningNetwork	ベアメタルノードの消去に使用するオーバークラウドネットワークの名前または UUID 。デフォルト値の provisioning は、初期のデプロイメント中 (ネットワークがまだ作成されていない時点) はそのまま使用することができますが、デプロイ後のスタックの更新時に実際の UUID に変更する必要があります。
IronicEnabledDrivers	Ironic ドライバーを有効化します。デフォルト値は ['pxe_ipmitool', 'pxe_drac', 'pxe_ilo'] です。
IronicIPXEEnabled	デプロイメントに PXE の代わりに iPXE を使用するかどうか。デフォルト値は True です。
IronicIPXEPort	iPXE の使用時にイメージの提供に使用するポート。デフォルト値は 8088 です。
IronicPassword	Bare Metal サービスおよびデータベースアカウントのパスワード

第10章 IDENTITY (KEYSTONE) パラメーター

パラメーター	説明
AdminEmail	OpenStack Identity (keystone) の管理者アカウントのメール。デフォルト値は admin@example.com です。
AdminPassword	OpenStack Identity (keystone) の管理アカウントのパスワード
AdminToken	OpenStack Identity (keystone) のシークレットおよびデータベースのパスワード
KeystoneCredential10	最初の OpenStack Identity (keystone) の認証情報キー。有効なキーである必要があります。
KeystoneCredential11	2 番目の OpenStack Identity (keystone) の認証情報キー。有効なキーである必要があります。
KeystoneCronTokenFlushDestination	有効期限の切れたトークン (Log destination) をパージする cron ジョブ。デフォルト値は /var/log/keystone/keystone-tokenflush.log です。
KeystoneCronTokenFlushEnsure	有効期限の切れたトークン (Ensure) をパージする cron ジョブ。デフォルト値は present です。
KeystoneCronTokenFlushHour	有効期限の切れたトークン (Hour) をパージする cron ジョブ。デフォルト値は 0 です。
KeystoneCronTokenFlushMaxDelay	有効期限の切れたトークン (Max Delay) をパージする cron ジョブ。デフォルト値は 0 です。
KeystoneCronTokenFlushMinute	有効期限の切れたトークン (Minute) をパージする cron ジョブ。デフォルト値は 0 です。
KeystoneCronTokenFlushMonth	有効期限の切れたトークン (Month) をパージする cron ジョブ。デフォルト値は * です。
KeystoneCronTokenFlushMonthday	有効期限の切れたトークン (Month Day) をパージする cron ジョブ。デフォルト値は * です。
KeystoneCronTokenFlushUser	有効期限の切れたトークン (User) をパージする cron ジョブ。デフォルト値は keystone です。
KeystoneCronTokenFlushWeekday	有効期限の切れたトークン (Week Day) をパージする cron ジョブ。デフォルト値は * です。

パラメーター	説明
KeystoneEnableDBPurge	Keystone データベースでソフト削除された行をパーズする cron ジョブを作成するかどうか。デフォルト値は True です。
KeystoneFernetKey0	最初の OpenStack Identity (keystone) の fernet キー。有効なキーである必要があります。
KeystoneFernetKey1	2 番目の OpenStack Identity (keystone) の fernet キー。有効なキーである必要があります。
KeystoneLDAPBackendConfigs	keystone に設定した LDAP バックエンドの設定を含むハッシュ
KeystoneLDAPDomainEnable	ldap_backend の puppet keystone 定義を呼び出すトリガー。デフォルト値は False です。
KeystoneNotificationDriver	Keystone で使用される Oslo 通知ドライバーのコンマ区切りの一覧。デフォルト値は ['messaging'] です。
KeystoneNotificationFormat	OpenStack Identity (keystone) の通知形式。デフォルト値は basic です。
KeystoneSSLCertificate	トークンの有効性を検証するための Keystone 証明書
KeystoneSSLCertificateKey	トークンに署名するための Keystone キー
KeystoneTokenProvider	OpenStack Identity (keystone) のトークン形式。デフォルト値は uuid です。
KeystoneWorkers	OpenStack Identity (keystone) サービスのワーカー数を設定します。デフォルト値は、ノードにある CPU コア数と同じ数値です。ワーカー数が多いと、システムのプロセス数も増え、メモリーを過剰消費してしまう点に注意してください。CPU コア数が多いシステムでは、デフォルト以外の適切な値を選択することを推奨します。

第11章 SHARED FILE SERVICE (MANILA) パラメーター

パラメーター	説明
ManilaPassword	Shared File サービスアカウントのパスワード

第12章 NETWORKING (NEUTRON) パラメーター

パラメーター	説明
EnableConfigPurge	director で生成されていない設定を削除します。アップグレード後に以前の設定が残らないようにするために使用します。デフォルト値は False です。
NeutronAgentExtensions	Neutron エージェント用に有効化されている拡張機能のコンマ区切りリスト。デフォルト値は qos です。
NeutronAllowL3AgentFailover	自動の l3-agent フェイルオーバーを許可します。デフォルト値は True です。
NeutronBridgeMappings	使用する論理/物理間のブリッジマッピング。デフォルト設定 (datacentre:br-ex) では、 br-ex (ホスト上の外部ブリッジ) をプロバイダーネットワークが使用可能な物理名 datacentre にマッピングします (例: デフォルトのフローティングネットワーク)。これを変更する場合には、別のインストール後のネットワークスクリプトを使用するか、マッピングネットワーク名として datacentre を保持するようにしてください。
NeutronCorePlugin	ネットワークのコアプラグイン。この値は、 neutron.core_plugins の名前空間から読み込まれるエントリーポイントである必要があります。デフォルト値は m12 です。
NeutronDhcpAgentDnsmasqDnsServers	dnsmasq フォワーダーとして使用するサーバーの一覧
NeutronDhcpAgentsPerNetwork	ネットワークごとにスケジュールする DHCP エージェントの数。デフォルト値は 0 です。
NeutronEnableARPResponder	OVS Agent の ARP レスポンダー機能を有効化します。デフォルト値は False です。
NeutronEnableDVR	分散仮想ルーター (DVR: Distributed Virtual Router) を有効化します。デフォルト値は False です。
NeutronEnableForceMetadata	True の場合には、DHCP は常に仮想マシンにメタデータをルーティングします。デフォルト値は False です。
NeutronEnableIsolatedMetadata	True の場合には、DHCP は常に分離ネット上でメタデータのサポートを許可します。デフォルト値は False です。

パラメーター	説明
NeutronEnableL2Pop	Neutron エージェントの L2 Population 機能を有効化/無効化します。デフォルト値は False です。
NeutronEnableMetadataNetwork	True の場合には、DHCP はメタデータネットワークを提供します。このパラメーターを True に指定するには、 NeutronEnableIsolatedMetadata または NeutronEnableForceMetadata のいずれかのパラメーターが True である必要もあります。デフォルト値は False です。
NeutronExternalNetworkBridge	外部ネットワークトラフィックに使用するブリッジ数。通常 L2 エージェントは外部ブリッジに接続されるポートを処理するのでパラメーターは設定する必要ではありません。
NeutronFlatNetworks	フラットネットワーク名がプラグインで設定されるように指定します。デフォルト値は datacentre です。
NeutronGlobalPhysnetMtu	下層の物理ネットワークの MTU。OpenStack Networking (neutron) はこの値を使用して、全仮想ネットワークのコンポーネントの MTU を算出します。フラットネットワークおよび VLAN ネットワークの場合は、OpenStack Networking はこの値を変更せずに使用します。VXLAN などのオーバーレイネットワークの場合は、OpenStack Networking は自動的にこの値からオーバーレイプロトコルのオーバーヘッドを除算します。デフォルト値は 1500 です。
NeutronL3AgentMode	L3 エージェントのエージェントモード。 legacy または dvr_snat のいずれかを指定する必要があります。デフォルト値は legacy です。
NeutronMechanismDrivers	テナントネットワークのメカニズムドライバー。デフォルト値は openvswitch です。
NeutronMetadataProxySharedSecret	スプーフィングを防ぐための共有シークレット
NeutronNetworkType	テナントネットワークの種別。デフォルト値は vxlan です。
NeutronNetworkVLANRanges	サポートされる Neutron ML2 および Open vSwitch VLAN マッピングの範囲。デフォルトでは、物理ネットワーク「 datacentre 」上の VLAN を許可するように設定されています (NeutronBridgeMappings を参照)。デフォルト値は datacentre:1:1000 です。

パラメーター	説明
NeutronOVSFirewallDriver	セキュリティグループの実装に使用するファイアウォールドライバーのクラス名を設定します。指定可能な値は、システム構成により異なります (例: noop 、 openvswitch 、 iptables_hybrid)。デフォルト値である空の文字列を指定すると、デフォルトでサポートされている構成となります。
NeutronPassword	OpenStack Networking (neutron) サービスとデータベースアカウントのパスワード
NeutronPluginExtensions	有効な拡張プラグインのコンマ区切りリスト。デフォルト値は qos, port_security です。
NeutronServicePlugins	サービスプラグインのエントリーポイントのコンマ区切りリスト。デフォルト値は router, qos, trunk です。
NeutronTunnelIdRanges	テナントネットワークの割り当てに使用できる GRE トンネリング ID の範囲を列挙した <tun_min> : <tun_max> タプルのコンマ区切りリスト。デフォルト値は ['1:4094'] です。
NeutronTunnelTypes	テナントネットワークのトンネル種別。デフォルト値は vxlan です。
NeutronTypeDrivers	読み込むネットワーク種別ドライバーのエントリーポイントのコンマ区切りリスト。デフォルト値は vxlan, vlan, flat, gre です。
NeutronVniRanges	テナントネットワークの割り当てに使用できる VXLAN VNI ID の範囲を列挙した <vni_min> : <vni_max> タプルのコンマ区切りリスト。デフォルト値は ['1:4094'] です。
NeutronWorkers	OpenStack Networking サービスの API および RPC ワーカー数を設定します。デフォルト値は、ノードにある CPU コア数と同じ数値です。ワーカー数が多いと、システムのプロセス数も増え、メモリーを過剰消費してしまう点に注意してください。CPU コア数が多いシステムでは、デフォルト以外の適切な値を選択することを推奨します。

第13章 COMPUTE (NOVA) パラメーター

パラメーター	説明
EnableConfigPurge	director で生成されていない設定を削除します。アップグレード後に以前の設定が残らないようにするために使用します。デフォルト値は False です。
InstanceNameTemplate	インスタンス名の生成に使用するテンプレートの文字列。デフォルト値は instance-%08x です。
LibvirtEnabledPerfEvents	これは、モニターとして使用可能なパフォーマンスイベントリストです (例: cmt, mbm1, mbmt)
MigrationSshKey	移行用の SSH 鍵。 public_key および private_key の鍵を持つディクショナリーが必要です。値は SSH 公開/秘密鍵ファイルと全く同じである必要があります。
NeutronMetadataProxySharedSecret	スプーフィングを防ぐための共有シークレット
NovaComputeLibvirtType	Libvirt ドメインの種別。デフォルト値は kvm です。
NovaComputeLibvirtVifDriver	ネットワーク用の Libvirt VIF ドライバーの設定
NovaCronArchiveDeleteRowsDestination	削除済みのインスタンスを別のテーブル (Log destination) に移動する cron ジョブ。デフォルト値は /var/log/nova/nova-rowsflush.log です。
NovaCronArchiveDeleteRowsHour	削除済みのインスタンスを別のテーブル (Hour) に移動する cron ジョブ。デフォルト値は 0 です。
NovaCronArchiveDeleteRowsMaxRows	削除済みのインスタンスを別のテーブル (Max Rows) に移動する cron ジョブ。デフォルト値は 100 です。
NovaCronArchiveDeleteRowsMinute	削除済みのインスタンスを別のテーブル (Minute) に移動する cron ジョブ。デフォルト値は 1 です。
NovaCronArchiveDeleteRowsMonth	削除済みのインスタンスを別のテーブル (Month) に移動する cron ジョブ。デフォルト値は * です。
NovaCronArchiveDeleteRowsMonthday	削除済みのインスタンスを別のテーブル (Day) に移動する cron ジョブ。デフォルト値は * です。

パラメーター	説明
NovaCronArchiveDeleteRowsUntilComplete	削除済みのインスタンスを別のテーブル (Until complete) に移動する cron ジョブ。デフォルト値は False です。
NovaCronArchiveDeleteRowsUser	削除済みのインスタンスを別のテーブル (User) に移動する cron ジョブ。デフォルト値は nova です。
NovaCronArchiveDeleteRowsWeekday	削除済みのインスタンスを別のテーブル (Week Day) に移動する cron ジョブ。デフォルト値は * です。
NovaDbSyncTimeout	OpenStack Compute (nova) データベースの同期のタイムアウト (秒単位)。デフォルト値は 300 です。
NovaDefaultFloatingPool	Floating IP アドレスのデフォルトプール。デフォルト値は public です。
NovaEnableDBPurge	Nova データベースでソフト削除された行をパージする cron ジョブを作成するかどうか。デフォルト値は True です。
NovaIPv6	OpenStack Compute (nova) の IPv6 機能を有効化します。デフォルト値は False です。
NovaOVSBridge	Open vSwitch で使用する統合ブリッジ名。デフォルト値は br-int です。
NovaPCIPassthrough	PCI パススルーのホワイトリストパラメーターの YAML リスト
NovaPassword	OpenStack Compute (nova) サービスとデータベースアカウントのパスワード
NovaPlacementAPIInterface	Placement API に使用するエンドポイントインターフェース。デフォルト値は internal です。
NovaReservedHostMemory	ホストプロセス用に確保されたメモリー。デフォルト値は 2048 です。
NovaSchedulerAvailableFilters	OpenStack Compute (nova) がノードのフィルタリングに使用する利用可能なフィルターの一覧

パラメーター	説明
NovaSchedulerDefaultFilters	ノードをフィルタリングするために OpenStack Compute (nova) が使用するフィルターアレイ。OpenStack Compute は、これらのフィルターをリスト順に適用します。フィルタリングのプロセスがより効率的になるように、最も制限の厳しいフィルターを最初に配置します。
NovaVcpuPinSet	仮想マシンプロセス用に確保する物理 CPU の一覧または範囲。たとえば、 NovaVcpuPinSet: [4-12, ^8] は、8 を除く 4-12 の範囲内の数のコアを確保します。
NovaWorkers	Compute の Conductor サービスのワーカー数。デフォルト値は 0 です。ワーカー数が多いと、システムのプロセス数も増え、メモリーを過剰消費してしまう点に注意してください。
UpgradeLevelNovaCompute	OpenStack Compute アップグレードレベル。デフォルト値は auto です。

第14章 CLUSTERING (SAHARA) パラメーター

パラメーター	説明
SaharaPassword	クラスタリングサービスおよびデータベースアカウントのパスワード
SaharaPlugins	クラスタリングが有効なプラグイン一覧。デフォルト値は ['ambari', 'cdh', 'mapr', 'vanilla', 'spark', 'storm'] です。
SaharaWorkers	Clustering サービスのワーカー数を設定します。デフォルト値は 0 です。ワーカー数が多いと、システムのプロセス数も増え、メモリーを過剰消費してしまう点に注意してください。CPU コア数が多いシステムでは、デフォルト以外の適切な値を選択することを推奨します。

第15章 OBJECT STORAGE (SWIFT) パラメーター

パラメーター	説明
ControllerEnableSwiftStorage	コントローラーノードでオブジェクトストレージを有効化するかどうか。デフォルト値は True です。
SwiftCeilometerPipelineEnabled	False に設定してオブジェクトストレージプロキシの <code>ceilometer</code> パイプラインを無効にします。デフォルト値は True です。
SwiftHashSuffix	リング内でマッピングを決定するためのハッシングを行う際にソルトとして使用するランダム文字列
SwiftMinPartHours	リバランスの後にリング内のパーティションを移動できるようになるまでの最小時間 (時間単位)。デフォルト値は 1 です。
SwiftMountCheck	ルートデバイスに誤って書き込まれないようにデバイスがマウントされているかどうかを確認します。デフォルト値は False です。
SwiftPartPower	Object Storage リングの構築時の Partition Power。デフォルト値は 10 です。
SwiftPassword	Object Storage サービスアカウントのパスワード
SwiftProxyNodeTimeout	swift-proxy からアカウント、コンテナ、オブジェクトサービスへの要求のタイムアウト。デフォルト値は 60 です。
SwiftRawDisks	Object Storage バックエンドに使用する追加の RAW デバイス (例: <code>{sdb: {}}</code>)
SwiftReplicas	Object Storage リングで使用するレプリカ数。デフォルト値は 10 です。
SwiftRingBuild	Object Storage リングを管理するかどうか。デフォルト値は True です。
SwiftUseLocalDir	リングの構築時に Object Storage サービスにローカルディレクトリーを使用します。デフォルト値は True です。
SwiftWorkers	Object Storage サービスのワーカー数。デフォルト値は 0 です。ワーカー数が多いと、システムのプロセス数も増え、メモリーを過剰消費してしまう点に注意してください。CPU コア数が多いシステムでは、デフォルト以外の適切な値を選択することを推奨します。

第16章 TELEMETRY (CEILOMETER、GNOCCHI、AODH) パラメーター

パラメーター	説明
AodhPassword	OpenStack Telemetry Alarming (aodh) サービスのパスワード
CeilometerApiEndpoint	レガシーの Telemetry API エンドポイントを作成するか、省略するか。レガシーの Telemetry API サービスを無効にするには False に設定します。デフォルト値は True です。
CeilometerBackend	Telemetry のバックエンドタイプ。デフォルト値は mongodb です。
CeilometerEventDispatcher	イベントデータを処理するディスパッチャーのコンマ区切りリスト。デフォルト値は ['panko', 'gnocchi'] です。
CeilometerMeterDispatcher	メタデータを処理するディスパッチャーのコンマ区切りリスト。デフォルト値は ['gnocchi'] です。
CeilometerMeteringSecret	Telemetry サービスによって共有されるシークレット
CeilometerPassword	Telemetry サービスアカウントのパスワード
CeilometerWorkers	Telemetry サービスのワーカー数。デフォルト値は 0 です。ワーカー数が多いと、システムのプロセス数も増え、メモリーを過剰消費してしまう点に注意してください。CPU コア数が多いシステムでは、デフォルト以外の適切な値を選択することを推奨します。
GnocchiBackend	使用する OpenStack Telemetry Metrics (gnocchi) バックエンドの省略名。 swift 、 rbd 、 file のいずれかにする必要があります。デフォルト値は swift です。
GnocchiIndexerBackend	使用する OpenStack Telemetry Metrics (gnocchi) インデクサーバックエンドの省略名。デフォルト値は mysql です。

パラメーター	説明
GnocchiMetricdWorkers	Telemetry Metrics (gnocchi) のワーカー数。デフォルト値は、ノードにある CPU コア数と同じ数値です。ワーカー数が多いと、システムのプロセス数も増え、メモリーを過剰消費してしまう点に注意してください。CPU コア数が多いシステムでは、デフォルト以外の適切な値を選択することを推奨します。
GnocchiPassword	OpenStack Telemetry Metrics (gnocchi) サービスアカウントのパスワード
MongoDbIPv6	MongoDB VIP が IPv6 の場合は IPv6 を有効化します。デフォルト値は False です。
MongoDbNoJournal	MongoDb ジャーナリングを無効にするかどうか。デフォルト値は False です。
PankoPassword	Panko サービスのパスワード

第17章 時間パラメーター

パラメーター	説明
NtpServer	NTP サーバーリスト。デフォルト値は ['pool.ntp.org'] です。
TimeZone	オーバークラウド上で設定するタイムゾーン。デフォルト値は UTC です。